

国家戦略会議 フロンティア分科会平和部会 第4回 2012年3月16日

## 新しい東アジア秩序を如何に構築するのか

東京大学 高原明生

### 望ましき未来とは

#### ◎世界および地域において

多文化共生の実現 (Cf. 一部での排外主義、国粹主義、孤立主義の台頭)

個と集団の調和 (人も国も：国内、国際の両方で)

人権、民主、法治の実現

#### ◎国 (例えば日本) にとって

平和、繁栄、自立という三大価値の実現

(自立：他からの支配や助力を受けず、よき伝統を守りながら、国際社会において個性を発揮し、名誉ある地位を占めること)

#### ◎なかでも中国について (やや具体的に)

安定的、均衡的な発展の実現 (政治、経済、社会、文化、環境)

協調的な外交安保政策の実施 (「穏やかな巨人」)

○現状：驚異的な高度成長の継続；改革は緩慢、問題が累積；富国強兵が至高善

○将来シナリオ A 高度成長継続、一党独裁継続、高圧的、対抗的な外交安保政策

○将来シナリオ M 成長鈍化、政治的自由実現、協調的外交安保政策

○将来シナリオ F ガバナンスの改善のため、連邦化

○将来シナリオ Z 混乱、分裂 (呉邦国「内乱の深い淵」温家宝「文化大革命のような歴史的悲劇」)

### 望ましき未来を如何に実現するか (中国シナリオ M に焦点を絞り)

#### ◎巨人に力を悪用、濫用させないための三つの梃子

規範、利益、力

#### ◎国際規範の浸透

知識交流、留学、中国語による情報発信

道義的優位性の確保

#### ◎戦略的互惠関係の充実

経済交流の拡大深化、安全保障協力の実施 (伝統的、非伝統的：特にエネルギー)

## ◎力の制約と均衡

同盟ネットワークによるヘッジング

多国間枠組みによるバランスングから戦略的共生へ

## 新しい東アジア秩序づくり

### ◎東アジア秩序とは何か

東アジア：東北アジアないし東南アジアに一定のプレゼンスを有する国々

秩序：その構成主体によって基本的な価値、規範、制度、そして全体としての目標が共有され、厚生主体の行動やその間の関係に規則性が見いだされる状態

### ◎規範、利益、力の制約均衡（持続可能な平和と繁栄）をもたらすコミュニティの形成

コミュニティ：共通の利益や脅威、あるいは共通のニーズを基礎として、その構成員が連帯感を抱きアイデンティティを共有する集合体

コミュニティ形成の動力：グローバル化によるネットワークとフレームワークの発展

### ◎日本の対中政策

日中関係の強靱性を強め、その脆弱性を弱める

経済交流、文化交流、社会交流を一層盛んにする

戦略的共生を目指す

領土や歴史をめぐる負の感情が噴出しないよう両国政府や公共知識人が協働する

その際、平和、友好、平等、互惠という日中関係の基本原則を前面に強く打ち出す